

(Daily 日本史) ～近代日朝関係史～

【問】 2003 年 立命館大学 法, 産業社会, 国際関係, 政策科学, 文, 経済, 経営, 国際イン

次の〔1〕〔2〕の文章を読んで、空欄 A ～ K にもっとも適当な語句・人名などを入れ、かつ(a)～(i)の問いに答えよ。

〔1〕 日本が開国したことは、それまでの東アジアの国際関係に大きな変動をもたらした。鎖国を続ける朝鮮は、日本が西洋諸国とのつながりを深めていることを警戒し、明治新政府からの通交要求を拒否、従来通り A 藩を通して外交交渉を行うことを求めた。これにより、岩倉使節団派遣中の留守政府では西郷隆盛らを中心に征韓論が高まったが、西郷らはやがて帰国してきた使節団首脳部との政争に敗れ、下野した。1875 年には江華島事件が発生、これに乗じて翌 1876 年 B を結ぶことに成功した日本は、朝鮮に釜山ほか二港を開かせ領事裁判権などの不平等な条件を認めさせた。

こうして朝鮮を市場とすることに成功した日本は、次第に貿易額をのばして結びつきを強めていったが、それは朝鮮を朝貢国と考える清国の反感を買い、日清両国は、朝鮮をめぐる鋭く対立することとなった。1882 年には朝鮮の改革派を支援していた日本の公使館が民衆に包囲される壬午軍乱が勃発、さらに C 年には金玉均らの改革派がクーデター(甲申事変)を起こしたが、清国軍の来援により失敗、日清関係はきわめて悪化したため、日本政府は伊藤博文を天津に派遣し、清国全権 D との間に、天津条約を結んだ。

その後、第一回帝国議会において、首相山県有朋は演説を行い、①朝鮮半島を含む日本周辺地域を日本の勢力下に確保することが、日本の国益・国防上きわめて重要であるとの見解を示し、軍備拡張に強い意欲を示している。

E 年に勃発した甲午農民戦争に際して朝鮮に出兵した日清両国は、朝鮮の内政改革をめぐる対立を深め、日清戦争に突入する。そしてこの戦いに勝利したことで日本は、朝鮮半島を自らの勢力圏に入れるための大きな一歩を踏み出したのである。

- (a) 江華島事件のきっかけは、日本のある軍艦がこの島に接近し、飲料水を求めるとして通告なしに艦載ボートを上陸させようとして、砲台から砲撃されたことによる。この軍艦の名前を答えよ。
- (b) 金玉均らの改革派グループは通称何と呼ばれていたか。もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。
- (ア) 独立党 (イ) 東学党 (ウ) 実学党 (エ) 事大党
- (c) 天津条約締結後も、日本の国内では自由民権運動家を中心に、朝鮮政府の武力改革を行おうとする動きが起きた。1885 年実際に朝鮮に渡ろうとした大井憲太郎らが逮捕された事件を何というか。
- (d) 1885 年福沢諭吉は「我日本の国土は亜細亜の東辺に在りと雖^{いえ}ども、其国民の精神は既に亜細亜の固陋^{ころう}を脱して西洋の文明に移りたり」という論説を書いて、日本が脱亜入欧の道を進むことを強く主張した。「脱亜論」と呼ばれるこの論説が書かれたのは、当時福沢が主筆をしていた新聞である。その新聞の名前を答えよ。

(e) 下線部①に関連して、「朝鮮半島を含む日本周辺地域」のことを、山県有朋は第一回帝国議会で次のように演説している。

「方今列国ノ間ニ介立シテ一國ノ獨立ヲ維持スルニハ、^{ひとり}独主権線(国の領土)ヲ守禦スルノミニテハ決シテ十分トハ申サレマセヌ。必ズ亦□□□□ヲ保護致サナクテハナラヌコトト存ジマス」

(『山県有朋意見書』)

演説中の空欄に入るもっとも適当な語句を答えよ。

〔2〕 日清戦争後、朝鮮の宮廷を支配し、ロシアに接近しようとした閔妃一派を排除するために、駐朝公使□ F □は大院君を擁立してクーデターを起こし、妃を殺害した。この行動によって反発を強めたロシアが親露派のクーデターを援助したために、宮廷から親日派勢力は追放され、以後、親露派政権のもとで反日姿勢が強まることとなった。

こうしたロシアの影響力を排除することを日露戦争の目的に定めた日本政府は、1904年韓国に派兵し、□ G □に調印させて、「軍略上必要ノ地点ヲ臨機収用スル」権利を韓国に強制的に認めさせた。また同年8月には第一次日韓協約を締結し、「韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ□ H □トシテ韓国政府ニ^{ヨウヘイ}傭聘」すべきことを強要した。

戦争終結が間近に迫った1905年7月には、首相桂太郎が、来日中のアメリカ陸軍長官□ I □と協定を結んで韓国に対する日本の宗主権を認めさせ、また8月には日英同盟を改定して、韓国の保護国化をイギリスに承認させ、さらに9月には日露戦後処理を定めた□ J □調印により、ロシアにもそれを容認させた。

こうして列強の承認を取りつけた日本は、第二次日韓協約によって漢城に統監府をおいて支配を強め、□ K □年の日韓併合以降は朝鮮総督府の手による武断政治の支配を強行した。

しかし、こうした日本の強圧的支配に対しては、次第に反発が強まり、第一次世界大戦後になって、ロシア革命や民族自決主義などの影響を受けた朝鮮民族の反日独立運動が高揚した。

(f) 下線部②に関連して、「妃を殺害した」のは何年のことか、西暦で答えよ。

(g) 日露戦争直前、開戦を強く主張した対外硬運動の団体に対露同志会がある。その会長はだれか。もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 近衛文麿 (イ) 近衛篤麿 (ウ) 谷干城 (エ) 西郷従道

(h) 初代朝鮮総督はだれか。もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 寺内正毅 (イ) 後藤新平 (ウ) 児玉源太郎 (エ) 伊藤博文

(i) 第一次世界大戦後に起きた「朝鮮民族の反日独立運動」として、もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 義兵運動 (イ) 五・四運動
(ウ) 三・一運動 (エ) 伊藤博文暗殺事件

【解答】

A 対馬

B 日朝修好条規(江華条約)

C 1884

D 李鴻章

E 1894

F 三浦梧楼

G 日韓議定書

H 財務顧問

I タフト

J ポーツマス条約

K 1910

〔1〕 (a) 雲揚 (号)

(b) あ

(c) 大阪事件

(d) 時事新報

(e) 利益線

〔2〕 (f) 1895 年

(g) い

(h) あ

(i) う